

事務連絡
令和3年2月9日

北海道大学 御中

公益財団法人原子力安全研究協会

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 FS審査委員会評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後FS審査委員会評価結果を、以下のとおり通知いたします。

課題名	機関連携強化による未来社会に向けた新たな原子力教育拠点の構築
実施機関	北海道大学
代表者	瀬戸口 剛

【評価結果】

A	継続は妥当である
---	----------

※) A ; 継続は妥当である。

B ; 一部の内容について継続は妥当である。または、改善の上での継続が妥当である。

C ; 継続すべきでない。

【FS審査委員会所見】

- コロナ禍においてはオンライン教材の重要性は高まっていることから、コンソーシアムを形成し、連携し、オンライン教材を整備して行くことは重要な取り組みである。
- 公開済みのオンライン講座へは多くのアクセスがなされている。また、参加大学間で単位化も進められており、今後、効果的な人材育成が進むと期待できる。
- 参画機関に産業界も入っているが、産業界の観点からも教材をレビューすることにより、更に有効なものとしていくことの検討も必要と考える。
- 海外インターンシップや留学について令和3年度は見送られることとなっているが、学生にとっては極めて魅力的なコンテンツであると考えられるため、コロナの状況を踏まえつつ、効果的・効率的な在り方を検討していくことが望まれる。
- 我が国全体として原子力人材育成の基盤の底上げを図っていくことが重要であり、コンソーシアム内の各機関の連絡・調整を十分に行之、PD・POの指導下で事業を進めていくこと。

以上